

無農薬タタミを使いませんか？

村井俊治

「女房とタタミは新しいほど良い」とは昔から言われてきた言葉です。新しいタタミの香りはなんともいえないよいものです。青畳の色も好ましいです。タタミはイグサで作られ、クッション性、吸音性、湿度調整機能、空気浄化機能などがあります。しかし、タタミには農薬や防虫剤が含有しています。そのためシックハウス症状を誘発する場合があります。タタミ屋さんが安いタタミなら1週間くらい使わないで通気していたほうが良いというのに驚きました。畳表を換える時に、無農薬タタミまたは低農薬タタミを勧められました。最近の日本の家は洋間が多く、タタミの部屋は少なくなりました。我が家にはタタミの部屋が2部屋あります。タタミに掘りコタツの部屋はとても落ち着きます。

無農薬タタミは、無農薬だけでなく無化学肥料で作られ、とても高いです。畳表だけでなく、わら床も無農薬のワラを使います。低農薬タタミは、最小限の除草剤と防虫剤を使っているようです。天然泥で染めています。無農薬タタミには問題もあります。通気が悪いとカビやダニが発生します。ある程度の防虫処理やカビ防止をしないと問題が出ます。しかし、無農薬または低農薬に越したことはないです。

我が家では、無農薬タタミはあまりにも高いので低農薬タタミにしました。本稿のタイトルは「無農薬タタミを使いませんか？」となっていますが、低農薬タタミも含まれると読んでください。いずれにしても農薬漬けのタタミは健康に危険のようです。特に赤ちゃんがいる家は要注意です。

我が家の洋間に、冬にはチベットで買った緞帳のカーペットが敷いてあります。とても厚い絨毯です。とても暖かい感じですが、でもタタミのクッションにはかないません。タタミは日本独特の文化です。中国にも韓国にも見られません。1400年前に既にタタミは存在したと言われます。タタミには足袋が似合います。今頃足袋は履きませんので素足です。タタミを摺り足した感触はなんとも言えません。イグサの草履にも足袋がお似合いです。タタミに靴下は似合いませんね。

高校生の時に柔道をしていました。柔道のタタミには縁がありません。普通のタタミより頑丈にできています。柔道に集中している時の摺り足の音が記憶に甦ります。投げたり投げられたりした時のクッションと音も忘れられません。柔道が国際化したので、タタミも少し国際化したかもしれませんね。レスリングのマットでは柔道はできません。タタミが必須です。

タタミが伝統として残って欲しいと願っています。ですから安全・安心なタタミを是非義務化して欲しいと思います。皆さん、タタミは要注意ですよ。

